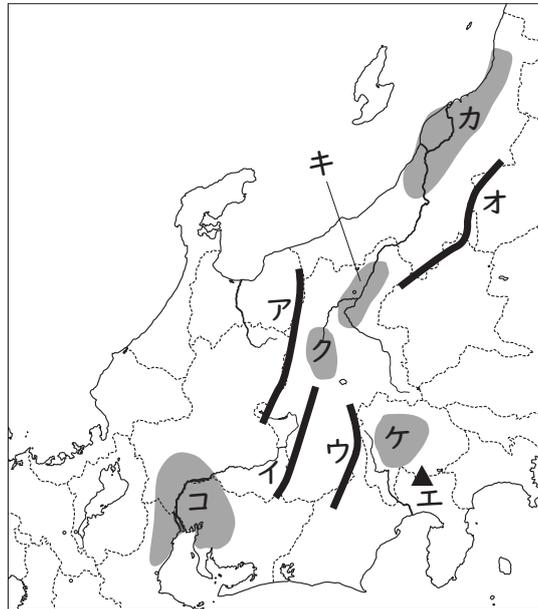


Ⅰ. 日本アルプスを抱く中部地方

(1) 図Ⅰのア～コの名称を地図で調べて記入してみよう。

図Ⅰ

- ア 飛騨山脈
- イ 木曽山脈
- ウ 赤石山脈
- エ 富士山
- オ 越後山脈



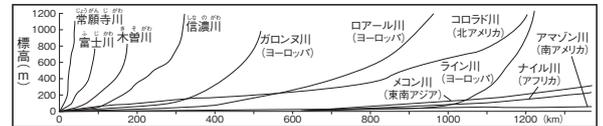
- カ 越後平野
- キ 長野盆地
- ク 松本盆地
- ケ 甲府盆地
- コ 濃尾平野

(2) 図Ⅰのア・イ・ウの三つの山脈を合わせて、何といますか。

日本アルプス

(3) 資料Ⅱの河川について調べてみよう。

① 資料Ⅱの日本の河川について、太平洋と日本海のどちらに流れているかまとめてみよう。



太平洋側	富士川 木曽川	日本海側	常願寺川 信濃川
------	---------	------	----------

② ①で挙げた河川の特徴を、世界の主な河川と比較してまとめてみよう。

(例) 川が短く、流れが急になっている。

(4) コの平野で起きやすい自然災害は何だろうか。また、それに対してどのような対策を取ってきたのかまとめてみよう。

自然災害	対策
(例) 洪水、河川の氾濫 など	(例) 堤防で土地を囲む。 洪水が起こった場合に備えて排水機場を整備する。

(5) 中部地方の地形の特徴を河川との関係から説明してみよう。

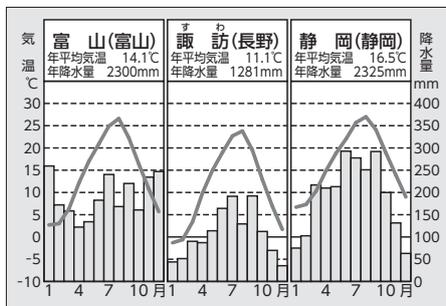
(例) 中央部にそびえる高い山脈から多くの河川が南北に流れ出し、河川の中流には扇状地や盆地、河口付近には大きな平野が作られて、海へと流れている。

2. 三つの地域で異なる気候

- (1) 中部地方を自然環境の違いなどから三つに区分したときの地域名を、下の表に記入しよう。
 (2) 資料Ⅲを参考に、中部地方の気候の特色を読み取り、下の表に記入しよう。

地域	日本海側	中央部	太平洋側
名前	北陸	中央高地	東海
気候の特色	<ul style="list-style-type: none"> ・冬に降水量が多い。 ・夏の気温は静岡とほとんど変わらない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ほかの二つの都市と比べ、夏も冬も気温が低い。 ・降水量が三つの都市の中で最も少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春から秋にかけての降水量が多い。 ・冬の気温が三つの都市の中で最も暖かい。

資料Ⅲ



資料Ⅳ

1月の新潟県



11月の静岡県



- (3) 資料Ⅳの2枚の写真を比較し、日本海側と太平洋側の景観の違いについて説明してみよう。

日本海側	太平洋側
(例) 街が大雪に覆われ、歩行者は歩道を確認するためのアーケードを歩いている。	(例) 富士山がはっきりと見えるほど晴れていて、多くのみかんが実っている。

- (4) 諏訪市の降水量が少ない理由を、諏訪市の位置と地形、季節風などから説明してみよう。

(例) 内陸の盆地に位置する諏訪市では、周りの山々に湿った季節風がさえぎられるため、一年を通じて降水量が少ない。

本時のまとめ

◆ 中部地方の気候の特色を、東海・中央高地・北陸に分けて説明しよう。

- ・東海…冬でも温暖で、春から秋にかけて降水量が多い。
- ・中央高地…一年を通じて降水量が少なく、冬の寒さが厳しい。
- ・北陸…冬はくもりや雪、雨の日が多く、降水量が多い。